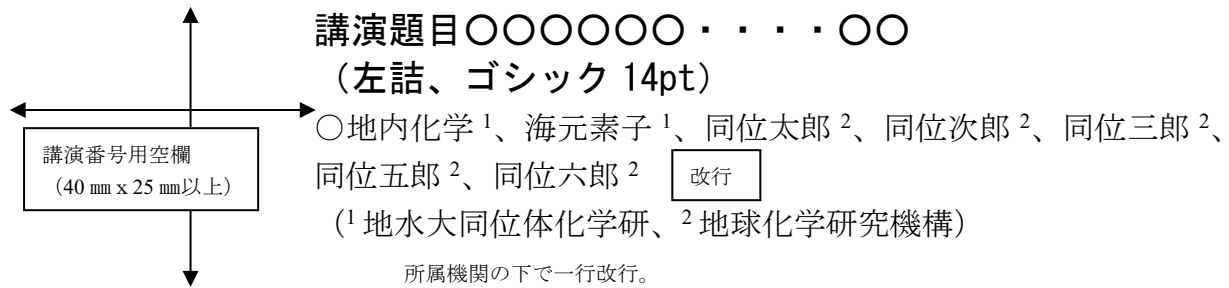


左から 40 mm 字下げします。タイトル、発表者行が短い場合でも上から 25 mm 下げます。タイトル、発表者が多いと 25 mm 以上下がります。

タイトルから所属まで左揃え。所属（括弧内）は改行して始める。発表者の行の途中からは始めない。



要旨作成上の注意： **このファイルをテンプレートに使うことを推奨します。**

- 1) フォントはできるだけ明朝体を使用して下さい。文字が小さくなりすぎないように注意して下さい（例：明朝 12pt）。
- 2) **A4 用紙に上下 30 mm、左右 23 mm のマージンを設定して下さい。** このファイルをテンプレートにすると、設定されます。
- 3) 研究題目、発表者、所属機関は上記の例に準じて記入し、講演者の左側に○印を付けて下さい。題目、発表者、所属機関が長い場合は、改行して左揃えにしてください。ページ下部の英文表記についても同様に左揃えにしてください。
- 4) **左上の講演番号用空欄は必ず空けて下さい、左から 40 mm × 上から 25 mm 以上。**
- 5) 字数が多く、行間を詰める場合でも 16pt 程度を限度としてください（このテンプレートは行間 18pt）。
- 6) PDF ファイルのファイル容量は 400 kb 以内となるようにして下さい。
- 7) **一般講演は 1 ページです。受賞講演・招待講演・基調講演は 2 ページを標準とします。**
- 8) PDF ファイルの原稿は必ずプリント出力で確認して下さい。特殊なフォントの場合、タイプ色が薄い場合でも画面からは判別できない場合があります。
- 9) 講演要旨提出の締め切りを厳守して下さい。（7月19日（水）17時）。
- 10) 四角枠内の説明書きおよび左上の矢印は、提出時には**すべて削除**して下さい。

英文表記の講演題目、講演者名、所属は必須。  
ページの下端に寄せる。タイトルから所属まで左揃え。例：タイムス 12pt。所属（括弧内）は発表者の行の途中から続けて書く。登壇者には \*（上付き）

Title of Presentation .....in English  
\*K. Chiuchi<sup>1</sup>, M. Umimoto<sup>1</sup>, T. Doi<sup>2</sup>, J. Doi<sup>2</sup>, S. Doi<sup>2</sup>, G. Doi<sup>2</sup> and R. Doi<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Inst. Geochem., Geosphere and Hydrosphere Univ., <sup>2</sup>Japan Agency Geochem. Res.)